

『くすりと健康フェアかわさき2026』を実施します

川崎市では、一般社団法人川崎市薬剤師会とともに「薬と健康の週間」に関わるイベントとして、医薬品や、薬剤師等の専門家の役割に関する正しい知識を広く知っていただくことを目的に「くすりと健康フェアかわさき2026」を実施します。（主催／くすりと健康フェアかわさき2026実行委員会）

1 開催日時

令和8年10月18日（日）11:00～15:00

2 開催場所

川崎アゼリア サンライト広場
（川崎市川崎区駅前本町26番地2）

3 主な内容



会場の風景（昨年度）

（1）こども調剤体験コーナー（事前予約制：9月15日（火）9時から先着30組を募集）



こども薬剤師になって、模擬処方箋に従って薬の選択、服薬指導などの調剤の体験をしていただきます。

【応募先】川崎市薬剤師会（電話、メール又はFAX）

電話：044-211-2325 FAX：044-233-5456

メール：kawayaku@alto.ocn.ne.jp

【応募条件】5歳以上

【応募必要事項】参加者氏名・身長・保護者氏名・連絡先・
チョコレートアレルギーの有無

（2）健康チェックコーナー

自分で行う健康管理への関心を持っていただくため、血管年齢やストレスチェック、^{ほねけんこうど}骨健康度測定、認知機能セルフチェック等ができるコーナーを設けます。

（3）くすりの相談コーナー

一般社団法人 川崎市薬剤師会会員薬剤師が薬やお薬手帳についての疑問や質問に答えます。
また、ジェネリック医薬品の啓発活動を行います。

（4）歯科医師会コーナー

歯科医師による虫歯リスクチェックや歯周病リスクチェック等を実施します。

（5）行政啓発コーナー

（薬物乱用防止、献血の推進、薬剤耐性（AMR）対策、応急手当講習普及啓発、救急車の適時・適切な利用について）

麻薬、覚醒剤、大麻、危険ドラッグ等、身体を蝕む危険な薬物の乱用防止及び医薬品の過剰服用（いわゆるオーバードーズ）防止を呼びかけるパネル等の展示及びリーフレット等の配布を行います。

また、献血に関するリーフレット等の配布を行い、献血協力と呼びかけます。

薬剤耐性（AMR）対策、応急手当講習普及啓発や救急車の適時・適切な利用への協力をリーフレット等の配布により呼びかけます。

（6）令和8年熊本地震及び令和8年8月千葉豪雨の義援金募金箱の設置

当該災害に関する日本赤十字社川崎市地区本部の活動の一環として、義援金の周知・募集を行います。
お預かりした義援金は、被災地の方々の生活支援に役立てられます。皆様からの温かい御支援と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

薬と健康の週間とは

毎年10月17日から10月23日まで、医薬品を正しく使用することの大切さ、そこに薬剤師が果たす役割を多くの方に知っていただき、保健衛生の維持向上に寄与することを目的として積極的な啓発活動を行う週間です。

【問合せ先】

川崎市健康福祉局保健医療政策部医事・薬事課 佐々木
電話 044-200-2425（内線34603）